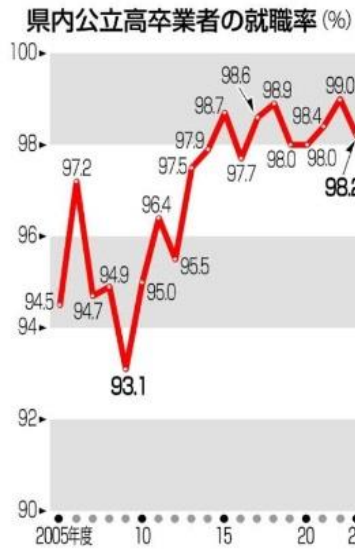


年 組 名前:

高卒就職率微減98.2%

公立求人増加傾向続く



県内の公立高(全日制・定時制)を今春卒業した生徒の就職率(3月31日現在)は98.2%で、過去最高だった前年同期から0.8%減となったことが24日、県教委のまとめで分かった。記録が残る2004年度以降、6番目だった。県教委は「求人数は引き続き増加傾向にあり、就職率は減少しているものの例年並みの水準」と総括した。(小池直輝)

県教委によると、公立高卒で0.9%減った。就職が決まったのは4927人(前年度比275人減)のうち、就職を希望したのは823人(95人減)。県内就職者の割合は90.8%(1.3%増)、県外は9.2%(1.3%減)だった。

県内のハローワークが受理した3月末現在の高校生向け求人は3179人で、前年同期から239人(8.1%)増加。求人倍率は3.71倍だった。

就職率の男女別では男子が98.4%(0.6%減)、女子は97.8%(1.3%減)だった。

学科別では普通科97.0%(1.2%増)、商業科98.2%(0.2%減)、農業科94.4%(3.2%減)、工業科99.7%(0.3%減)、総合学科98.0%(2.0%減)。課程別では全日制が98.5%(1.3%減)、

定時制が93.9%(2.6%増)だった。

今春の卒業生は公務員を志望する学生が多く、昨年10月の時点では内定率が前年度を大きく下回ったが、「公務員の合否が出そろい、志願先を民間に切り替えた生徒も順調に就職を決めることができたため、例年並みの決定率となった」と説明した。求人数は増加傾向にあり、特に製造業・宿泊・サービス業、建設業で増えた。

一方、県私立・科学振興課によると、県内私立の卒業生は2062人で、就職希望者数は153人。決定者は140人。就職率は前年度より2.1%低い91.5%で、内訳は男子93.8%、女子88.9%だった。

問1

今春県内の公立高を卒業した生徒数と、就職を希望した生徒数を教えてください。

卒業:人

就職希望:人

(2024年5月25日付 山梨日日新聞7面)

問2 就職率を学科別にみて、高い順に1から番号を付けてください。

()普通科 ()商業科 ()農業科 ()工業科 ()総合学科

問3 就職を希望した生徒は、なにを志望する学生が多かったですか。

.....

問4 求人数で、特に増えた業種を教えてください。

.....